

これからめざすエコ社会(持続可能な社会)

しゃかい じぞくかのう

① **もっとくわしく。**
平成20年版環境・循環型社会白書：P9～34を見てね。

Q5 お茶やジュース、飲みほした容器をどうしている？

①水筒を持ち歩くようにして、ごみは出さない(5点) ②ペットボトルや紙パックはリサイクルに出している(3点) ③残った容器はそのままごみ箱に捨てちゃう(0点)

自然を壊し、たくさんのエネルギーを使って、ものを作っては捨てる社会はもうやめましょう。限りある地球の資源を大切に「持続可能な社会」に変わらなくてはなりません。

①低炭素社会、②循環型社会、③自然共生社会の3つを組み合わせる「持続可能な社会」はこれからめざす新しい形のエコ社会です。

① 低炭素社会



低炭素社会って、つまり温室効果ガスをなるべく出さない社会にするってことよね？

そうだね！さらに言えば、温室効果ガスを減らしながら、便利で豊かな暮らしができる社会にしようってことだね。



便利な社会にするためにエネルギーを消費しているのよね。エネルギー消費を抑えることで、生活は不便にならないかしら？

今までは『経済が発展すると環境が悪くなる』ことが多かったんだ！
これからは、『環境を良くすると経済も発展する』、『経済が発展すると環境も良くなる』というように、環境と経済が良い循環をする社会をめざしているんだよ。実際には、こんな活動があるみたいだね！



- ・クリーン技術の開発
- ・エコ製品が広く利用される
- ・エコ活動が活発になる



低炭素社会に向けた12の方策

- 自然にやさしい暮らし**
屋上に植物を植えたり、屋根に太陽光パネルを設置するなど、住宅や会社にも環境にやさしい設備を取り入れます。
- 買う→賢く借りる**
使用回数や利用状況を考えて、最先端の省エネ機能がついた自動車や電気製品などを必要なときに使いたくだけレンタルするという考え方も大切です。
- 地域の恵みを旬に食べる**
国内外の遠い地域からたくさんのエネルギーを使って運ばれてきた食材よりも、地域で採れた旬のものを食べることで、低炭素社会につながります。
- 木のある暮らし**
木はうまく活用すれば持続可能な資源です。木材を利用した住宅や公共施設づくり、木くずなどをエネルギー活用することが大切です。
- 企業努力の公表**
多くの企業が低炭素製品の開発やサービス向上に力を注いでいます。その努力を公表することで、企業はさらなる努力を続け、消費者にとっては低炭素製品・サービスを選ぶ目安にもなります。
- スムーズな流通**
例えば、必要なものの量が初めから分かれば、必要ない分の生産を抑えてエネルギーのムダづかいを減らせます。このようなムダを減らすために、材料の調達→製造→運搬→販売に関係する人々が、情報交換します。
- 歩いて暮らせるまちづくり**
路面電車やバスなどを充実させて、車を運転できない子どもやお年寄り、体の不自由な人など誰もが歩いて暮らせる「コンパクトシティ」は、自動車にたより過ぎない、環境にやさしいまちです。

- 低炭素型のエネルギー供給**
発電所で電気をつくるときに大量に出る二酸化炭素をできるだけ抑える工夫をしたり、太陽光、風力など無限にあって、環境に負担をかけないクリーンなエネルギーを利用した「再生可能エネルギー発電」への切り替えをしたりすることが必要です。
- 自分でつくるエネルギー**
太陽光パネルをつけた住宅や会社、まちの中にある風車など地域ごとにエネルギーを供給できるシステムは、低炭素社会を支える大きな力になります。
- 次世代エネルギー**
「水素」や、植物や動物のふんなどからエネルギーをつくる「バイオマスエネルギー」はクリーンエネルギーです。これらの新しいエネルギーの安定した供給と利用が求められています。
- 見える低炭素製品**
住宅、会社、携帯電話、パソコン、商品のタグなどにエネルギー消費量を表示するしくみをつくりまします。消費者が環境負荷の小さい製品を選んだり、CO₂ダイエットライフの目安になります。
- 低炭素社会に向けた人づくり**
環境教育の正しい知識やノウハウをもつ人を育てます。環境のスペシャリストが学校や企業でアドバイスをするなど、低炭素社会づくりに向けて人々の意識を変えていきます。

トピックス TOPICS

太陽ギラギラの国 - スペインの太陽熱発電 -

スペインのグラナダ地方にあって、東京ドーム11個分の広さに20万個の鏡がついていて、20万人の人々の生活を支えるものといえど何でしょう？
それは、太陽ギラギラの国スペインが世界に誇る太陽熱発電施設、アンダソル1号です。石油に頼らない、再生可能エネルギーに注目が集まる中、スペインでは様々な会社が太陽熱エネルギーの技術開発に乗り出しています。アンダソル1号は、塩とオイルの特性を上手く使い熱を貯めることによって、夜間でも発電できるというのだからすごいですね。



すごい数！なんとこれ全部集熱パネル
写真：Solar Millennium AG, Germany